

## 20周年をむかえられる 水辺に遊ぶ会

大分県中津市 NPO「水辺に遊ぶ会」(代表足利由紀子さん)が来年20周年を迎える  
と聞いた。私はほぼ12年前2006年に大分朝日放送の番組制作に関わってこの会の  
足利由紀子さんと出会いました。番組は「豊なる海～坂田明が見た豊前海の神秘」  
として2007年に大分県のみならず国内のかなりの局で放映された、また英語版も  
制作されてアーカイブとなっている。この番組の制作の根本を支えて協力を惜しまな  
かったのが「水辺に遊ぶ会」で足利由紀子さんにはほぼ全面的にご協力をいただいた。

このNPOが目指している「中津干潟と山国川水系の保全」というのはこの地域に  
根ざした活動であり、世界の干潟と水系の関係を明らかにしていくためにも重要なこと  
です。既にラムサール条約があります通りに、むしろ世界はこういった干潟の保全は  
当然のこととして認識しているということでもあります。

私たち人間の歴史は高々数百万年ですし、現存人類の歴史はアフリカのイブ以来の  
たかだか20万年ぐらいのものです。その人類がこの美しい地球で我が物顔に振り回す  
人間中心主義、皆が知っている言葉にすればヒューマニズム、でもって破壊と汚染を  
積み重ねてきております。

私たち人間は命というものが何なのかを教えられないで暮らせば、滅亡に向かうので  
ある、と知った方が良いでしょう。こういったことは誰が言ってるいったものでは  
ありません。人間が認識しなければならない基本中の基本であります。私たち人間は  
誰もが同じことは出来ません。それぞれが自分に出来ることをすればいいと思います。  
私は何も出来ないからといって嘆き悲しむこともありません。あなたがいること自体が  
既に役割があります。この世界の瞬間瞬間が、大変多層的なジグソーパズルとして、  
その一コマを地球上の誰もが担っています。大切なことは何か？それは私たちが地球の  
上に生まれた生き物であること、そしてこの地球上のすべての生き物と同じ価値がある  
ということです。干潟に生き物が居るということが、山国川が自然の河であることが、  
わたしたちの生きる将来があるということです。今日の社会ではお金がないと生きて  
いけないことは明白ですが、お金より命が大切だということを学ぶことが一番です。  
「ボランティアをやっている人は暇だからほっとけばいいとか、音楽なんて学校で教え  
なくていい」といった心の貧困さはお金がいくらあっても豊かさは来ないということ  
です。干潟に行って生き物たちに出会い沈む夕日を見て育つ人の心が豊かさであり  
ます。私たちの心は風景によって育つのです。「水辺に遊ぶ会」は、来年20周年を  
迎えるそうですが、陰ながら応援いたします。

坂田 明